

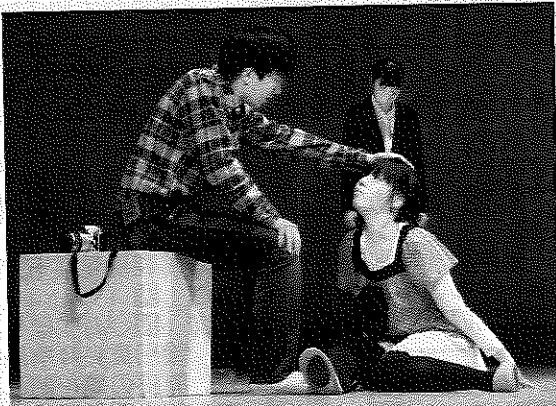
2014年3月

### 三重高演劇部は 創作劇で親子描く

#### 中南勢地区で大会

三重県教育委員会、県高校演劇連盟など主催の第31回中南勢地区高校春季演劇大会が27日から3日間、松阪市嬉野権現前町の嬉野ふるさと会館で開かれている。松阪地区からは松阪市久保町の私立三重高校演劇部（山田陽一郎顧問、8人）が28日午前10時から登場し、創作劇を演じた。

同大会は、部員らの日ごろの練習の成果を披露する場として、毎年この時季に行われている。上演は1時間以内の作品で、既成作やそれに脚色したもの、創作などが演じられた。3日間で県中南勢地域の公立15校が登場し、最終日には交流



親子を中心に繰り広げられる創作劇を演じる三重高演劇部員ら。嬉野権現前町の嬉野ふるさと会館で

会や表彰式が行われる。松阪多気地区からは三重高が唯一。

三重高は、年齢を重ねることに素直に笑うことができなくなっていく思春期の心の変化を描いた、1年生の谷川優奈さんの創作劇「Cheese's smile」が映く頃々」を披露。父と娘の親子関係をメインに、主人公が過去の自分や父

親と対面し会話することで笑顔を取り戻す様子を演じた。

部員らのメリハリのあたるテンポのいい会話が会場を引き付け、コミカルなシーンでは会場から笑いが起こる場面も。1年の奥山佳吾部長は「100点とは言えなかったけど、緊張の中で精いっぱい演じたことができた」と話していた。